

# 中学歴史プリント（過去問類似）

## 人類の出現と文明

名前

得点

/8

**問1** 1949年、相沢忠洋によって関東地方の赤土の層（関東ローム層）から石器が発見されたことで、日本列島にも土器出現以前の文化が存在したことが初めて証明されました。この発見の舞台となった群馬県の遺跡の名前として適切なものを選びなさい。

（2017年 群馬県公立入試 類似）

1. 岩宿遺跡                      2. 三内丸山遺跡                      3. 吉野ヶ里遺跡                      4. 登呂遺跡

**問2** アフリカ大陸の北東部、地中海に注ぐ大河の流域で発展した古代文明について、この大河の名前と、この文明で使われていた文字の組み合わせとして正しいものはどれですか。      （2026年 茨城県公立入試 類似）

1. ナイル川 — 象形文字                      2. ナイル川 — 楔形文字                      3. ティグリス・ユーフラテス川 — 象形文字                      4. ティグリス・ユーフラテス川 — 楔形文字

**問3** 1492年に製作された現存する世界最古の地球儀には、当時のヨーロッパ人が存在を知らなかった南北アメリカ大陸が描かれていません。この大陸の南部に位置するアンデス山脈を中心に、16世紀前半にスペイン人に滅ぼされるまで独自の石造建築文化を築いた帝国を何とといいますか。      （2026年 大阪公立入試 類似）

1. インカ帝国                      2. アステカ文明                      3. マヤ文明                      4. インダス文明

**問4** 古代ギリシャの都市国家（ポリス）について、代表的な都市の組み合わせとして正しいものはどれですか。      （2024年 和歌山公立入試 類似）

1. アテネ・スパルタ                      2. ローマ・カルタゴ                      3. 長安・洛陽                      4. メンフィス・テーベ

**問5** 弥生時代から古墳時代にかけての道具の使用目的や技術的特徴について、正しい説明を述べているものはどれですか。      （2018年 長野県公立入試 類似）

1. 大陸から伝わった技術により、高温の窯で焼かれた灰色で硬質の須恵器が作られるようになった。      2. 狩猟や採集が中心の生活の中で、食料を保存するために表面が硬い打製石器が開発された。      3. 稲作が始まったことで、土を耕すための道具として縄文土器が各地で広く使われるようになった。      4. 定住生活が始まったことで、木の実を粉にするために、網目の文様をつけた磨製石包丁が考案された。

**問6** 古代ギリシャの歴史家ヘロドトスが「エジプトはナイルのたまもの」という言葉を残したように、ナイル川はエジプト文明の発展に不可欠な存在でした。ナイル川が農業の基盤として果たした役割について、最も適切な説明を選んでください。      （2018年 大阪公立入試 類似）

1. 定期的に氾濫することで、上流から農業に適した肥沃な土を運び、土地を豊かにした。      2. 川の流が非常に急であったため、大規模な水車を設置して灌漑施設を動かす動力源となった。      3. 一年中雨が多いため、川の水位が常に一定に保たれ、二期作や三期作が可能になった。      4. 川の水の塩分濃度が高かったため、周辺の土地で塩の採取が盛んになり、交易の資金源となった。

**問7** 奈良時代の日本に、西方のペルシアやインドなどの影響を受けた文化や工芸品がもたらされた背景を説明した文として、最も適切なものはどれですか。      （2014年 沖縄公立入試 類似）

1. 遣唐使が派遣されたことで、当時の唐にシルクロードを通じて流入していた国際色豊かな文化や宝物が日本に持ち帰られた。      2. 倭の五王が中国の南朝へ使いを送ったことで、東南アジアの島々を経由する「海の道」の貿易が発達になり、工芸品が伝わった。      3. 勘合貿易の開始によって、明の文化が琉球王国を経由して平城京に運ばれ、正倉院のような建築物に収められるようになった。      4. 朝鮮半島での白村江の戦いに勝利した際、大陸から多くの技術者や文化人が日本に渡来し、西方の高度な工芸技術を伝えた。

**問8** 日本の縄文時代と同じ時期、世界各地では大河の流域を中心に古代文明が成立しました。中国の黄河流域で発展した文明について述べた説明として、最も適切なものはどれですか。      （2019年 山形県公立入試 類似）

1. チグリス川・ユーフラテス川の流域で、粘土板に楔形文字を刻み、独自の天文学を発展させた。      2. インダス川の流域で、モヘンジョ・ダロなどの計画的な都市を建設し、公共の浴場や下水道を整備した。      3. ナイル川の流域で、洪水の時期を予測するために太陽暦を作り、死後の世界を信じてピラミッドを建設した。      4. 黄河の流域で、高度な技術を用いた青銅器が作られ、占いなどの記録のために甲骨文字が使用された。

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> <b>岩宿遺跡</b>	群馬県の岩宿遺跡での発見は、日本の歴史学において画期的な出来事でした。それまでは、火山の噴火による火山灰が堆積した関東ローム層からは人類の痕跡は見つからないと考えられていましたが、相沢忠洋がこの地層から打製石器を発見したことで、日本にも氷河時代に人類が生活していた「旧石器時代」があったことが確定しました。
問2	<b>答え 1</b> <b>ナイル川 — 象形文字</b>	アフリカ北部を流れるナイル川の定期的な氾濫は肥沃な土壤をもたらし、エジプト文明の発展を支えました。この文明では、王（ファラオ）の権威を誇示したり記録を残したりするために、ヒエログリフとも呼ばれる「象形文字」が使われました。楔形文字は、メソポタミア文明で使用された文字です。
問3	<b>答え 1</b> <b>インカ帝国</b>	南アメリカ大陸のアンデス山脈沿いに広まったこの帝国は、文字を持たない代わりに「キープ」と呼ばれる紐の結び目で情報を記録し、マチュピチュのような高地都市や精巧な石造建築を発達させました。1492年の地球儀に描かれていないのは、コロンブスの到達以前でヨーロッパにその存在が知られていなかったためですが、16世紀にピサロ率いるスペイン人によって征服されました。
問4	<b>答え 1</b> <b>アテネ・スパルタ</b>	古代ギリシャには数百のポリスが存在していましたが、中でも民主政を発達させたアテネと、強力な軍事教育で知られたスパルタは、ギリシャ世界を代表する二大ポリスとして歴史上重要な役割を果たしました。
問5	<b>答え 1</b> <b>大陸から伝わった技術により、高温の窯で焼かれた灰色で硬質の須恵器が作られるようになった。</b>	古墳時代には、朝鮮半島から渡来した人々の技術によって、従来の赤褐色の土器（埴輪や土師器など）とは異なる、窯を用いた高温焼成の「須恵器」が生産されるようになりました。磨製石包丁は弥生時代に稲刈りの道具として使われたものであり、縄文土器は縄文時代の煮炊き用具、打製石器は旧石器時代の狩猟・加工用具であるため、それぞれの時代背景や用途と一致しません。
問6	<b>答え 1</b> <b>定期的に氾濫することで、上流から農業に適した肥沃な土を運び、土地を豊かにした。</b>	ナイル川は毎年決まった時期に氾濫を繰り返しました。この氾濫によって上流から栄養分を豊富に含んだ土砂（肥沃な土）が下流へと運ばれ、乾燥地帯であるエジプトでも安定した農業を行うことが可能になりました。この豊かな農業生産力が、巨大なピラミッドの建設や国家の形成を支える基盤となりました。
問7	<b>答え 1</b> <b>遣唐使が派遣されたことで、当時の唐にシルクロードを通じて流入していた国際色豊かな文化や宝物が日本に持ち帰られた。</b>	奈良時代、日本は唐の進んだ律令制度や文化を学ぶために遣唐使を派遣しました。当時の唐の都である長安は、シルクロードを通じて世界各地から人や物が集まる国際都市でした。そこで育まれた国際的な文化（唐文化）が、遣唐使によって日本に直接もたらされたため、正倉院に代表されるような西方の香り漂う工芸品が日本に残ることとなりました。他の選択肢にある「倭の五王」は古墳時代、「勘合貿易」は室町時代、「白村江の戦い」は日本が敗北した出来事であり、時代背景や事実関係が異なります。
問8	<b>答え 4</b> <b>黄河の流域で、高度な技術を用いた青銅器が作られ、占いなどの記録のために甲骨文字が使用された。</b>	中国文明は、紀元前16世紀ごろに黄河流域で興った「殷（いん）」などの王朝を中心に発展しました。この文明では祭祀のために精巧な青銅器が作られたほか、亀の甲羅や牛の骨に刻まれた甲骨文字が使われており、これが現在の漢字の原型となりました。他の選択肢はメソポタミア文明、インダス文明、エジプト文明の特徴を示しています。